



ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間について（小）



みなさんこんにちは。1月24日から30日は、「全国学校給食週間」です。学校給食がいつから始まったのか知っていますか？

明治22年に山形県鶴岡市の小学校で、昼食を持ってくることができない子どもたちのために、「おにぎり、塩鮭、つけもの」を出したのが日本の学校給食の始まりです。しかし、戦争により食べ物なくなり、中断されました。戦後、ユニセフから日本の子どもたちのために小麦粉や脱脂粉乳がおくられました。そして、昭和21年12月24日から給食が再開され、栄養不足だった多くの子どもたちを救うことができました。

この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みで学校が休みのため、1か月後の1月24日から30日の1週間は「全国学校給食週間」としました。

この1週間は、家庭から募集したわが家のじまん料理や愛知県の郷土料理「煮みそ」を給食に取り入れています。また、春日井市で作られている黒きくらげや愛知県産のキャベツやうずら卵、みかんなども使っています。

給食に関わる人々の思いを知り、食べることの大切さを感じながら、感謝の気持ちをもって、残さずいただきますよう。